

事業名	姉妹都市・友好都市交流事業	総事業費	119 千円
-----	---------------	------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		各市との姉妹都市・友好都市と交流事業を行う。
事業の実績 と成果	取組内容	関係自治体等との連絡調整
	成 果	長浜市、堺市のイベントがそれぞれ3年ぶりに実施されたことから、自治体関係者及び火縄銃保存会と一緒に参加することにより、交流事業を再開することとなった。 ホストタウンの事業を活用し、小学生がヴィラ・ド・ビスポ市へ手紙を送る事業を実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	自治体間の交流ということから、祭り等のイベントを通じた交流が基本となっている。交流を進めていく上では、観光や文化などの様々な分野での対応が必要となることから、関係課等と一体となった取組が重要である。特に、ポルトガルとの交流は、大使館や海外との連絡調整が必要であることから、時間や言葉の問題への対応が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症の影響によりほぼ行事が中止であったが、3年ぶりに一部交流事業が再開できたことは喜ばしいことである。これまで中止となっていた交流事業を再構築していく意味で関係課との連携協議を更に図る必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	各自治体との祭り等を通じた交流を実施する。
-----------	-----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 火縄銃が繋ぐ友好 本市の友好都市である滋賀県長浜市と大阪府堺市において、それぞれ の地域を代表とするイベントが3年ぶりに開催され、火縄銃が繋ぐ友好 を改めて確認することとなりました。 《滋賀県長浜市》長浜火縄銃大会 10月8日(土)に、滋賀県長浜市の長浜城址博物館広場において、 第37回長浜火縄銃大会が開催されました。当日は、天気にも恵まれ、地 元の国友旅館研究会や本市の種子島火縄銃保存会ほか、火縄銃保存 会、歴戦銃砲隊の計4団体による試射演武が披露され、高さをかせま した。 間日には、長浜市役所において友好都市歓迎会が開催され、国友旅館 研究会の善導会長や今年3月に就任された津野市長も出席するなど、 交流を深めました。 《大阪府堺市》堺まつり 10月15日(土)に、大阪府堺市 において第49回堺まつりが開催さ れました。3年ぶりのまつりでは、 従来の「大パレード」ではなく、 通りを歩行進軍として開放する 「参加体験型のストリートフェス」 へリニューアルして開催。様々 なイベントが開催される中、本 市の種子島火縄銃保存会も試射演武 を披露するなどしてまつりを盛り 上げました。	長浜市の火縄銃大会、堺市の堺まつりへの参加について、市政の窓にて紹介

事業名	種子島ふるさと応援隊事業
-----	--------------

総事業費	5 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	・ 応援隊を知ってもらう。 ・ 応援隊に入会してもらう。	
事業の実績 と成果	取組内容	出郷者会(関東、関西、東海、九州)の総会は、新型コロナの影響により全て中止となった。本市の広報誌「市政の窓」(毎月発行)と応援隊新聞を送付して情報提供を行った。種子島ふるさと交流大会(ゴルフ大会)は、新型コロナの影響により中止となった。
	成 果	出郷者会への参加や交流大会の開催など実施できなかったことが多かったが、ふるさと納税PRや種子島ふるさと応援隊員の皆さんから「令和5年西之表市二十歳のつどいお祝いのメッセージ」募集などを行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	出郷者会が中止となったことにより、入隊者数が伸び悩むとともに、高齢化により脱退が増えてきているため、種子島ふるさと応援便のような魅力ある活動を継続して実施することで隊員の確保に繋げていきたい。 種子島ふるさと交流大会(ゴルフ大会)は、島外からの参加者が少ないため、ほかの交流方法を検討する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	出郷者との連携は今後も引き続き力を入れていく必要があるが、新型コロナウイルスの影響による出郷者会議・交流会の中止、会員の高齢化など会員の減少化傾向が進んでいる。市と出郷者の関わり・交流の在り方などを見直す必要もある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	出郷者とのつながりを持ちながら、本市施策の推進や交流人口の拡大を目指す。
-----------	--------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	TANEGASHIMACUP事業	総事業費	560 千円
-----	------------------	------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		・参加艇を増やし、市内への交流人口を増やす。 ・参加者を増やし、市内への宿泊者増につなげる。 ・サブイベントの開催により市民の交流の場を創出する。
事業の実績 と成果	取組内容	感染症対策としてウェルカムパーティーなどは実施出来なかったが、レースを3年ぶりにイベントを実施した。
	成 果	南種子町が抜け、1市1町の負担金で実施できた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	西之表港の整備・拡充や交流人口の増加を図ることを目的とした始まった本大会も、ヨット関係者の高齢化や競技人口の減少等の理由もあり、参加艇が減少している。今後は費用対効果も検証しながら、今後継続していくべきかどうかの判断も必要となってくる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	事業開始の目的と意義を再確認する必要がある。西之表港湾計画の見直し作業が行われており、それと並行して、今後継続していくべきか費用対効果も含めて判断する必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	島民がさらに関心を持てるような仕組み、内容にする。
-----------	---------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	種子島カップヨットレースの様子

事業名	グリーン・ツーリズム推進事業
-----	----------------

総事業費	764 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図			・教育旅行の受入を増やし、入込客数の増加を狙う。 ・市民にも広く認知してもらい受入体制の充実を図るため受入家庭を増やす。 ・農林漁業体験を通して、教育旅行で訪れる学生との交流を図り、市民とのつながりを構築する。
事業の実績 と成果	取組内容	専門員を配置し、誘致活動、問合せ対応、研修会充実などを行う、集客等交流等活性化事業から移行し、事業を一本化。 グリーン・ツーリズム受入体制整備事業と連動させながら、都市部と農林漁村の人々との交流による、第一次産業と観光の活性化のために、受入体制の充実に取り組んだ。	
	成 果	新型コロナウイルスの影響により受入や誘致活動を計画どおりに実施することができなかったが、全会員家庭を訪問し現場の声を聞き、受入れの改善点等について意見を聞くことができた。また、初めて種子島へ修学旅行で来てくださった伊佐市南永小学校の生徒の皆さんに卒業記念のDVDを作成した。さらに、汲み取り式トイレであるために民泊受入に至らないケースがあったことから、浄化槽設備助成を行い、今後民泊受入へ協力いただけることとなった。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	受入家庭の高齢化が顕著であり、新型コロナウイルスの影響を気にする声が多く聞こえた。コロナ禍の中での受入についての研修会等に積極的に参加していただき、安心・安全な活動ができるよう支援していく。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ2.3年は受入実績がない。ウィズコロナを見据え、受入態勢を整備・再構築する必要がある。民泊受入家庭は高齢化もあり、受入家庭の若手世代の掘り起こし等で受入家庭の増加も喫緊の課題である。 グリーンツーリズム事業は、民泊をさせるのが目的ではなく、旅行の満足度を向上させるためのひとつの手段である。体験活動の充実やインストラクターやガイドの育成などウェルネスツーリズムなどとも合わせて、総合的に事業推進する必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	令和4年度はコロナ禍で実績なし。今後の活動も先行き不透明であるが、受入れの再開を目標に、会員スキルアップ向上と新たなメニュー開発に取り組む。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	歓迎の様子

事業名	浦田シーサイドハウス修繕事業
-----	----------------

総事業費	30,476 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		利用者の安全確保及び利便性向上
事業の実績 と成果	取組内容	老朽化したシーサイドハウスの連絡橋の改修工事を実施
	成 果	改修工事の結果、安全性が担保され、効果的な海水浴運営が行えるようになった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。老朽化が進む公的施設の改修作業は安全性の観点からも、優先的な事業実施が不可欠
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本市の特徴的な観光資源としてなくてはならない施設であり、来場者が安心安全に利用できるよう補助金等を活用しながら年次的・計画的に施設の整備を行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	令和4年度で事業完結。国上校区との現地での確認調査(4/16)を実施し、必要に応じ、改修等、対応してい参りたい。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鉄砲まつり事業
-----	---------

総事業費	7,500 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	より多くの市民がまつりに参加することで、郷土意識や相互の理解を深めてもらう。 観光客等の誘客を行い、市の観光振興や交流人口の増加を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響によりまつりを規模縮小しての開催となり、種子島鉄砲まつり実行委員会にて実施する項目について検討し、時期を見て開催した。
	成 果	花火打上、鉄砲館での絵画展の開催など、全国的に新型コロナウイルス感染症が広がっている中で実施できる形を模索した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	新型コロナウイルス感染症の影響により計画通りに実施することができなかったが、次回大会以降については、5 類への引き下げもあり、以前と同様な祭りの形状に戻すのか、検討が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ2.3年は規模を縮小しての開催となっている。全国的にはウィズコロナを見据え、多くのイベント・催事ではコロナ以前の内容・規模での開催・実施に戻りつつある。令和5年度は鉄砲伝来480周年の節目の年でもあるので、それにふさわしい内容で多くの市民が集えるイベントとして実施してほしい。 新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催を余儀なくされていたため、フルバージョンでの「鉄砲まつり」を経験した職員等が不足している。開催にあたっては、これまで以上に関係機関等と密に報・連・相を行い、本市最大のイベントとしてほしい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	4年ぶりの完全開催に向け取り組んでいくこととなるが、2023年は前日に全国火縄銃大会を実施することとなる。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	配布予定だったポスター

事業名	外国青年招致事業（国際交流員）
-----	-----------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図	C I Rを活用し、外国人観光客の誘致や受入体制の充実など、インバウンド対策に取り組む。	
事業の実績 と成果	取組内容	語学指導行う外国青年招致事業（JETプログラム）を活用して、概ね3年目を目途に、英語と中国語、日本語が堪能であるCIRを1名配置。サーフィンとポルトガルの活用、インバウンド対策に取り組んだ。
	成 果	今後のインバウンド対策に向けた、博物館の解説文、パンフレットの英訳。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	外国人宿泊者数増につなげるために、海外向け情報発信や誘致活動等も必須ではあるが、一方で島内の受入体制の充実や整備も必須となってくる。 観光情報媒体の多言語化に加え、宿泊施設や、飲食店等の事業所への多言語化サポートや市民への国際交流に対する関心を高める取組も併せて行いたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、C I R（国際交流員）を活用して、外国人観光客の誘致や受入体制の充実などインバウンド対策が不十分であったことは否めない。 本事業の目的・意図を達成するため、新たなC I R（国際交流員）を活用するのか、地域おこし協力隊等を活用するのか、検討が必要である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	事業実施なし
-----------	--------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	種子島アロハフェスタ事業
-----	--------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		全国のフラダンスやタチヒダンス愛好家との交流を図り、交流人口増加を目指す。
事業の実績 と成果	取組内容	事業実施なし
	成 果	事業実施なし

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	事業実施なし
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	事業終了。 事業の目的・意図には賛同し、理解できる。観光資源としては、魅力ある素材なので、今後は他方法・事業で他市で行われているようなフラフェスタへの拡がりを期待したい。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	令和4年度で事業終了
-----------	------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	ウェルネスツーリズム推進事業
-----	----------------

総事業費	12,644 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	観光・交流の振興
	基本事業名	交流事業の推進

② 実施 (Do)

事業の意図		交流人口の拡大と健康増進を図る
事業の実績 と成果	取組内容	ヨガの聖地をツールとしたウェルネスツーリズムの推進を図るため、また、島外からの交流人口の拡大を図るため、イベントツアーの実施や広告、各種イベントに参加してのPR活動、旅行会社訪問による営業活動を行った。
	成 果	滞在型コンテンツを企画して島内外の参加者に種子島の魅力を実体験してもらえた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	地域の魅力の旅行商品化を積極的に立案していくことが重要。よって、観光協会等との細かな協議が必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	交流人口の拡大を図るため「ヨガ」に関する島外向けPR活動及び各種媒体を活用しての広報を積極的に行った結果、島外での認知度は増している。今後は市民・島民の健康増進を図るため、市民・島民への「ヨガの聖地」のさらなる周知と関係機関と連携し、地域に「ヨガ」を根付かせる取組が急務となっている。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	前年度同様の取組を進めていくが、魅力の旅行商品化を積極的に立案するためには、観光協会等との細やかな協議が必要となる。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明